



1 令和5年度災害時小児周産期医療関係事業について

会議	災害時小児周産期医療体制推進部会（2/19）	年1回程度	災害時小児周産期リエゾンの運用等、災害時小児周産期医療体制の推進を図る
	災害時小児周産期リエゾン連絡会（1/5）	年1回程度	都の災害時小児周産期医療の現状及び課題を把握し災害時小児周産期医療体制の推進に向けた取組みを行う
	東京都災害医療コーディネーター部会（6/21）	年1回	災害時小児周産期リエゾン代表者が参加し、情報共有、連携促進を図る
	地域災害医療連携会議	年1回	医療対策拠点が実施。災害医療コーディネーターとの連携、圏域内の関係機関との顔の見える関係を構築する
訓練	都と東村山市の合同総合防災訓練（9/3）	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療コーディネーターとの連携、圏域内の関係機関と顔の見える関係性を構築 ・区中央部、区西北部、北多摩南部、北多摩北部 	
	各二次保健医療圏の図上訓練（12/16）		
	大規模災害対策情報システムPEACE入力訓練（9/12・2/29）	年2回	入力訓練により各施設の災害時の対応能力向上及び災害小児周産期リエゾンと災害時の連携強化を図る
研修	東京都災害時小児周産期リエゾン養成研修（7/8）	年1回	地域リエゾン要員の安定的な確保のため計画的に養成（32名）
	災害時小児周産期リエゾンフォローアップ研修（11/11）	年1回	リエゾン養成研修で習得した知識の定着及びスキルアップを図るため、リエゾン及びリエゾン代理要員を対象に演習中心の研修を実施（13名）
	災害時小児周産期医療研修 第1回区部（9/10）第2回多摩地区（10/15）	年2回	災害時地域の周産期施設の連携を強化するため、リエゾンの活動を中心に地域の産科医師・助産師等へ研修を行う（86名）

災害時小児周産期医療体制推進部会（令和6年2月19日開催）の報告について

	東京都災害医療図上訓練について	災害時小児周産期医療救護ガイドライン
災害小児周産期医療体制の課題 リエゾン連絡会のご意見 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時小児周産期リエゾンは訓練の参加機会がまだ少ない。 ・医療対策拠点として、地域災害コーディネーターを中心した情報連絡体制の確立ができる訓練体制が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時小児周産期リエゾン代理の動き方、位置づけ等、ガイドラインには記載はない。 ・参集先の災害拠点病院に行く際、小児周産期リエゾンの I Dカード等があると良い。
災害小児周産期医療体制推進部会のご意見 	<ul style="list-style-type: none"> ・図上訓練には対象圏域以外の小児周産期リエゾンも参加ができる仕組みがあると良い。 ・医療対策拠点内で、実際災害を想定し災害コーディネーターと協議が必要となる搬送等が入れ込まれた事例の付与が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在改定中の災害時医療救護活動ガイドラインの改定をもとに内容の更新等が必要。 ・参集体制等について検討が必要。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・対象圏域以外のリエゾン参加を検討。 ・周産期の専門性と災害コーディネーターとの連携が必要な事例の付与と情報連絡体制の統一を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時小児周産期医療救護ガイドラインは現在改定中の災害時医療救護活動ガイドラインを参考にしていく ・リエゾン I Dカードなど身分証明書について対応策を検討中。

令和6年度 災害時小児周産期医療関係事業（予定）

	名称（☆災害医療実施）	開催	目的
会議	災害時小児周産期医療体制推進部会	年1回程度	災害時小児周産期医療体制整備を推進していくため必要な取り組み等について協議する。
	災害時小児周産期リエゾン連絡会	年1回程度	定期的に開催し活動状況等情報共有を図るとともに、課題等対して闊達な意見交換の場とする。
	☆東京都災害医療コーディネーター部会	年1回	災害時小児周産期リエゾン代表者が参加し、情報共有、連携促進を図る
	☆地域災害医療連携会議	年1回	災害医療コーディネーターとの連携、圏域内の関係機関との顔の見える関係を構築する
訓練	☆都と板橋区の合同総合防災訓練 区西北部医療対策拠点	年1回 (9月1日)	都及び区市町村、災害拠点病院、医師会と連携し拠点病院や緊急医療救護所における負傷者に対し、初期医療処置が実施できる。
	☆各二次保健医療圏の図上訓練 区西南部・区東部・西多摩・北多摩西部	年1回 (6月30日)	医療対策拠点の本部活動を通じ、関係機関と顔の見える関係性を構築し、地域災害コーディネーターと連携し急性期の対応を行う。
	大規模災害対策情報システムPEACE一斉入力訓練	年2回	平常時から都内分娩施設の情報共有を行うとともに、大規模災害時に妊産婦の搬送調整を円滑に行う
研修	災害時小児周産期リエゾン養成研修	年1回2日間	リエゾン代理要員の安定的な人員確保及びリエゾンの人材育成
	災害小児周産期フォローアップ研修	年1回	リエゾンが都の災害医療体制を十分に理解し、小児周産期に係わる医療救護活動を円滑に担えるように資質の維持・向上を図る。
	災害時小児周産期医療研修 (区部・多摩地区)	年2回	災害時周産期施設の地域連携を強化するため、リエゾンの活動を中心に地域の産科・小児科の医療従事者へ研修を行う

令和6年度 災害時小児周産期医療体制の取組（予定）

	リエゾン養成研修	リエゾンフォローアップ研修									
目的	安定的にリエゾンを確保するために、リエゾン候補者となる有資格者を養成していく	リエゾン及びリエゾン代理が都の災害医療体制を十分に理解し、小児周産期に係る医療救護活動を円滑に担えるよう質の維持・向上を図る									
対象	リエゾン養成研修未受講者	令和6年度の養成者を除く 地域リエゾン・代理・ 有資格者									
変更点	養成研修終了後、災害時に即時対応を可能にするため基礎的な内容だけでなく、演習を中心とした実践的かつ応用的な内容をカリキュラムに追加し、 2日間の連続実施とする。	対象者について、これまでは当該年度の養成研修受講者も受講対象としていたが、令和6年度よりフォローアップ研修の内容を養成研修のカリキュラムに追加することとしたため、除くこととする。（重複した内容を短期間で受講することとなるため）									
カリキュラム	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1日目</th> <th>2日目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目的</td> <td>基本的な知識を身につける</td> <td>実践力と応用力を身につける</td> </tr> <tr> <td>カリキュラム</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・災害医療概論 ・東京都の災害医療体制 ・リエゾンの活動体制と活動内容の概要 ・リエゾンが扱う情報システム（EMIS、PEACE等）の概要 ・リエゾンの活動内容についてのグループワーク（災害時の立上げ、搬送調整の方法等） </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・区市町村の災害医療体制 ・EMIS、PEACEの演習 (実際の災害を想定した具体的な入力等) ・災害図上訓練を見据えたグループワーク（実際の災害を想定し地域の課題を発見し、医療圏ごとに被災状況の分析等を行う） </td> </tr> </tbody> </table>		1日目	2日目	目的	基本的な知識を身につける	実践力と応用力を身につける	カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療概論 ・東京都の災害医療体制 ・リエゾンの活動体制と活動内容の概要 ・リエゾンが扱う情報システム（EMIS、PEACE等）の概要 ・リエゾンの活動内容についてのグループワーク（災害時の立上げ、搬送調整の方法等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・区市町村の災害医療体制 ・EMIS、PEACEの演習 (実際の災害を想定した具体的な入力等) ・災害図上訓練を見据えたグループワーク（実際の災害を想定し地域の課題を発見し、医療圏ごとに被災状況の分析等を行う） 	<p>左記リエゾン養成研修の2日目のカリキュラムのとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区市町村の災害医療体制 ・EMIS,PEACEの演習（実際の災害を想定した具体的な入力等） ・図上訓練を見据えたグループワーク等
	1日目	2日目									
目的	基本的な知識を身につける	実践力と応用力を身につける									
カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ・災害医療概論 ・東京都の災害医療体制 ・リエゾンの活動体制と活動内容の概要 ・リエゾンが扱う情報システム（EMIS、PEACE等）の概要 ・リエゾンの活動内容についてのグループワーク（災害時の立上げ、搬送調整の方法等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・区市町村の災害医療体制 ・EMIS、PEACEの演習 (実際の災害を想定した具体的な入力等) ・災害図上訓練を見据えたグループワーク（実際の災害を想定し地域の課題を発見し、医療圏ごとに被災状況の分析等を行う） 									